

令和6年度

チャレンジみらい予算

提案結果

令和6年5月  
福井市役所

# 目次

01 制度の概要

02 提案結果(件数・人数・事業内容等)

03 提案へのサポート実績

04 提案者の声(アンケート結果等)

# 01 制度の概要



## 届け、熱量。

- ▶ 自らの言葉で市長に提案できるチャンスは、チャレンジみらい予算だけ
- ▶ チャレンジみらい予算の事業経費は、シーリングの対象外
- ▶ チーム提案では、所属を超えた仲間と力を合わせてチャレンジ

### チーム提案

令和6年度  
チャレンジ  
みらい予算

- 対象事業 若手職員による新しい価値観や柔軟な発想に基づく事業  
(例)・市民生活の向上や地域経済の活性化につながる事業  
・DX推進、ゼロカーボンシティの実現、地方創生、人への投資に資する事業  
・財源確保などの歳入増加につながる事業
- 対象者 若手職員  
※主に主査以下  
※原則5人以内で、複数の所属職員で構成
- 予算枠 「令和6年度当初予算編成方針」にて発表  
※令和5年度は個人・チーム提案で総額3,000万円程度
- エントリー方法 エントリーシートを総合政策課にメールにて提出  
※6月30日(金)まで

※従来の「個人提案」の募集は、「令和6年度当初予算編成方針」にて通知します。

お問い合わせ  
総合政策課 20-5283 (島出・村上)

詳しくは裏面へ

▲募集チラシ

## 目的

- ①若手職員のチャレンジできる場の創出
- ②若手職員の政策形成能力の向上
- ③柔軟なアイデアに基づく事業の実施による市民生活向上・地域活性化

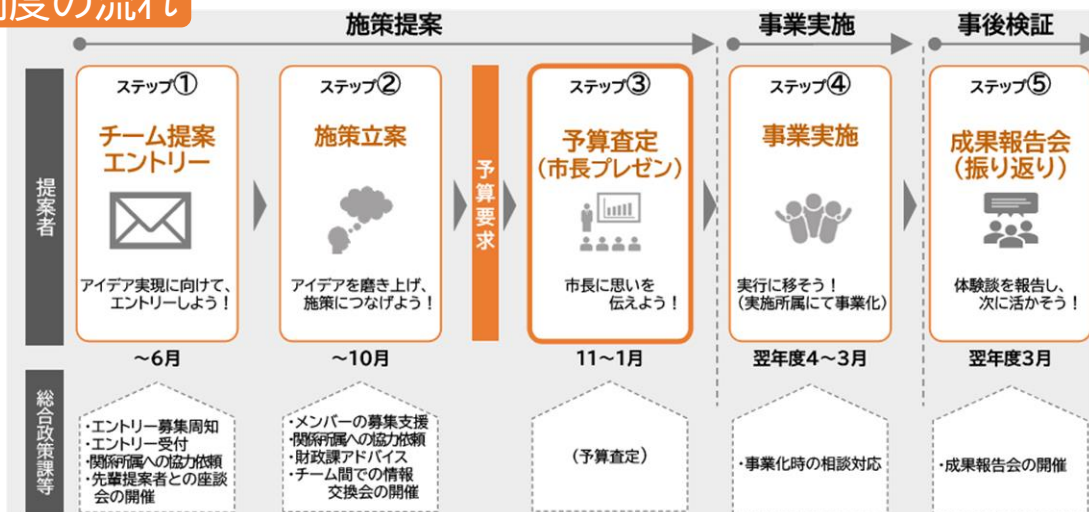
## ポイント

- ①提案対象者は、主に主査以下の職員
- ②事業経費は、シーリング対象外
- ③査定では、提案者自らが説明を実施
- ④予算措置後は、チーム提案者も事業課に関わりながら事業を実施

### 【チーム提案】NEW!

- ⑤予算要求に向け財政課職員によるアドバイスを実施
- ⑥メンバー集めは庁内公募可能
- ⑦人事評価シートを用いて、積極性を上司にアピール可能

## 制度の流れ



## 02 提案結果(件数・人数)



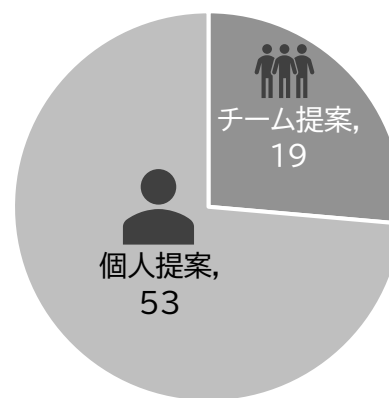
※1 市長査定 : **7**件 **27**人  
(9) (29)

※2 事業費総額 : **16,796**千円  
(34,866)

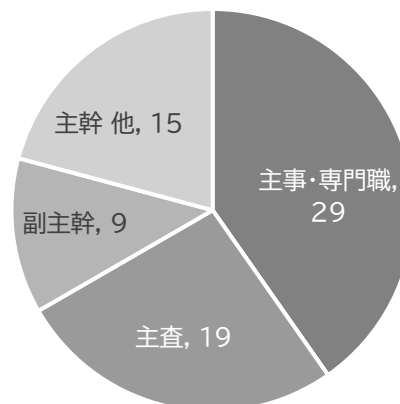
### 〈エントリー人数の内訳〉

※令和5年度新規採用職員…3名

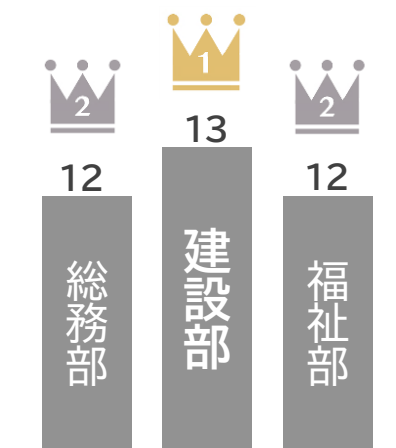
■区分(人)



■補職(人)



■部局(人)



|          |   |
|----------|---|
| 都市戦略部    | 7 |
| 市民生活部    | 6 |
| 財政部      | 4 |
| 商工労働部    | 4 |
| 危機管理監    | 4 |
| 保健衛生部    | 3 |
| 農林水産部    | 3 |
| 企業局      | 2 |
| 教育委員会事務局 | 2 |

## 02 提案結果(内容:個人提案)



〈予算措置された提案：8件(12,859千円)〉

| 事業名                               | 所属        | 事業費(千円) | 内容                                                                                |
|-----------------------------------|-----------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| FUKUIラジオ部 ふくチューナー事業               | 広報課       | 868     | 大学生パーソナリティが、市の魅力や取組、地域的话题を紹介する番組を放送します。                                           |
| デザイン思考による<br>政策創造プロジェクト           | 総合政策課     | 150     | 新たな政策手法として注目されている「デザイン思考」を取得することにより、行政運営の効率化や住民サービスの向上を図ります。                      |
| タブレットを持って現地へGO！                   | 資産税課      | 2,728   | 固定資産税課税のための現況調査や災害時の建物被害認定調査にタブレットを活用することで、事務の効率化・省力化を図ります。                       |
| これが私の生きる道！<br>シニアパーティー事業          | 地域包括ケア推進課 | 287     | 「終活」の周知活動や楽しく終活を始めるために、エンディングノートの書き方等を学ぶ終活講座を開催します。                               |
| ちびっこもくもく広場事業                      | 子ども福祉課    | 1,166   | 「こども家庭センター」に、木製遊具を完備した親子の遊び場を設置して、センターの周知や気軽に相談ができる環境整備を行います。                     |
| 認定路線図等公開システム構築事業                  | 監理課       | 3,820   | 認定路線図等をインターネット上に公開するシステムを構築し、事業者等の負担軽減および「行かない窓口」の実現を図ります。                        |
| 「マイホーム これからノート」で<br>空き家発生予防プロジェクト | 住宅政策課     | 100     | 住まいに関するエンディングノートを作成・配布し、所有する不動産の明細や今後の活用希望等を整理するとともに相続人等に伝えることで、空き家の発生予防に繋げていきます。 |
| AIを用いた管渠劣化予測の<br>導入可能性調査事業        | 下水管路課     | 3,740   | 老朽化した下水管路の改築事業を効率的に推進するため、AI技術を用いた管渠劣化予測の導入可能性調査を行います。                            |

## 02 提案結果(内容:チーム提案)

〈予算措置された提案：3件(3,937千円※)〉 ※歳入を除く

| 事業名                               | 予算措置所属   | 事業費(千円)     | 内容                                                            |
|-----------------------------------|----------|-------------|---------------------------------------------------------------|
| もったいないを、ほっとけない。<br>粗大ごみリユースプロジェクト | 収集資源センター | (歳入)<br>250 | 収集資源センターに持ち込まれた粗大ごみのうち、使えるものをメルカリを活用してリユースします。                |
| 歩いて貯めよう！スマホde健康<br>ポイント事業         | 健康管理センター | 2,320       | スマートフォン用ウォーキングアプリを導入し、健康活動にポイントを付与することで運動習慣の定着など市民の健康増進を図ります。 |
| 県民衛星「すいせん」活用事業                    | 林業水産課    | 1,617       | 県民衛星「すいせん」の活用により、災害対応のスピードアップを図るとともに、地域住民の負担軽減と安全確保を図ります。     |

※上記以外に、他1件をブラッシュアップ中

# 03 提案へのサポート実績

4月

- 募集チラシを作成
- 全体部長会議等でチャレンジみらい予算の募集を開始

5月

- 過去にチャレンジみらい予算に参加した先輩職員を招き、「先輩提案者との座談会」を開催
- 実例を題材としたマンガを作成し、提案を打診

6月

- 職員の登庁時に募集チラシを配布
- 初等科研修にて、若手職員に提案を打診

随時

- 提案者へのサポート (相談支援等)

1月

- 提案者のプレゼン力向上のため、市長プレゼンに向けた「市長プレゼンリハーサル会」を実施
- 市長へのプレゼン実施

2月

- 今回の提案結果をまとめた報告書を作成し、庁内に発信



◀募集チラシ



▲先輩提案者との座談会



▲マンガ



◀市長へのプレゼン



◀提案結果 報告書

## 04 提案者の声(アンケート結果)

Q:チャレンジみらい予算(チーム提案)にチャレンジして良かったか？

→全職員が「良かった」と回答



<アンケート概要>

- 目的:提案者の声をふまえ、次回に向けた改善を検討
- 対象:チーム提案エントリー者(回答13名)
- 時期:1月22日～1月31日
- 方法:電子申請サービス「ふくeねっと」

### 【良かった】

- ・業務の中で「欲しいな」と思う要素をこの事業で導入するきっかけを作ることができたので、とても良い事業だと思います。
- ・中々経験できないことを経験出来て良かったと思います。
- ・自分が興味ある分野を突き詰めて提案し、市長に直接提案できるのは貴重な経験です。
- ・普段あまり交流のない部署の職員とも関わる機会ができたので、意見交換などができてとても勉強になった。
- ・他課の職員と一緒に仕事ができ、繋がりを持てたのでよかった
- ・チーム提案というスキームがあったことで、他部局との連携事業を行うきっかけになって良かった。
- ・市長と直接話す機会を得たり、他チームのプレゼンを見て切磋琢磨する等、若手職員のモチベーション向上につながるよい制度と感じています。

Q:市長へのプレゼンを体験してどうでしたか？



- ・主査の立場で市長の質疑に対応することは非常に良い経験になった。
- ・事業の内容について文面ではなく、市長の言葉で直接聞けるのは良いと思う。結果的には肯定してもらえたので自信にもつながった。
- ・市長や上役の方と同席し、面と向かってプレゼンする機会はそうそうないので少し緊張したが、貴重な経験を積むことができよかった。
- ・市長に向けて話せばいいとのリハーサルでの助言を受けて、落ち着いてプレゼンすることができた
- ・市長から、直接事業に関する助言がいただけたのは、貴重な機会でありがたかった。
- ・練習や準備・リハーサルをしていたものの、実際に経験してみると焦ってしまうなど、良い経験でした。
- ・プレゼン時間はとても短いと感じました。市長がとても聞きやすい雰囲気を作っていただいたことはありがたいと感じました。